

令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等（鹿児島県公立学校）の状況について

令和4年10月26日
義務教育課・高校教育課

学 校 数：小学校 497 校，中学校 214 校，高等学校 71 校，特別支援学校 16 校 計 798 校
児童生徒数：小学校 87,986 人，中学校 43,236 人
高等学校 29,349 人（全日制 27,591 人 定時制 153 人 通信制 1,605 人）
特別支援学校 2,495 人 計 163,066 人（R3.5.1 現在 学校基本調査）
※ 小学校，中学校には義務教育学校を含む。

1 いじめの状況

<いじめの認知件数>

（単位：件）

校種 年度	鹿児島県					全国		
	H30	R1	R2	R3	前年比較	R2	R3	前年比較
小学校	5,436 (60.4)	7,794 (87.0)	6,470 (72.8)	7,379 (83.9)	+909	420,897 (66.5)	500,562 (79.9)	+79,665
中学校	1,540 (35.8)	1,925 (45.1)	2,196 (51.5)	2,499 (57.8)	+303	80,877 (24.9)	97,937 (30.0)	+17,060
高等学校	612 (19.1)	506 (16.1)	482 (15.8)	350 (11.9)	-132	13,126 (4.0)	14,157 (4.4)	+1,031
特別支援学校	28 (12.7)	34 (14.9)	23 (9.6)	24 (9.6)	+1	2,263 (15.9)	2,695 (18.4)	+432
合 計	7,616 (45.6)	10,259 (61.9)	9,171 (55.8)	10,252 (62.9)	+1,081	517,163 (39.7)	615,351 (47.7)	+98,188

※（ ）は1000人当たりの認知件数

- 1000人当たりのいじめの認知件数は62.9件（前年度比7.1件増）であり，全国では47.7件（前年度比8.0件増）である。
- いじめを認知した学校（いじめの認知件数が1件以上の学校）は81.3%（前年度比0.9ポイント減）であり，全国では79.9%（前年度比1.0ポイント増）である。
- いじめの解消率は84.6%（前年度比1.2ポイント増）であり，全国では80.1%（前年度比2.7ポイント増）である。
- いじめの発見のきっかけは，前年度同様「アンケート調査など学校の取組により発見した」が最も多く57.7%，次に「本人からの訴え」17.3%，「学級担任が発見した」12.2%の順となっている。
- いじめの態様は，前年度同様「冷やかしやからかい，悪口や脅し文句，嫌なことを言われる」が最も多く66.2%，次に「軽くぶつかられたり，遊ぶふりをしてたたかれたり，蹴られたりする」19.2%，「仲間はずれ，集団による無視をされる」11.4%の順となっている。なお，「パソコンや携帯電話等で，ひぼう・中傷や嫌なことをされる」については2.7%（前年度比0.1ポイント減）であり，全国では前年度同様3.5%である。
- いじめの重大事態発生件数は17件（1000人当たり0.09件）であり，全国では705件（1000人当たり0.05件）である。

2 不登校の状況

<不登校児童生徒数>

（単位：人）

校種 年度	鹿児島県					全国		
	H30	R1	R2	R3	前年比較	R2	R3	前年比較
小学校	427 (4.7)	466 (5.2)	595 (6.7)	833 (9.5)	+238	63,350 (10.0)	81,498 (13.0)	+18,148
中学校	1,496 (34.8)	1,511 (35.4)	1,671 (39.2)	2,153 (49.8)	+482	132,777 (40.9)	163,442 (50.0)	+30,665
高等学校	756 (24.7)	726 (24.3)	723 (25.1)	702 (25.3)	-21	43,051 (13.9)	50,985 (16.9)	+7,934
合 計	2,679 (16.4)	2,703 (16.7)	2,989 (18.6)	3,688 (23.2)	+699	239,178 (18.9)	295,925 (23.6)	+56,747

※（ ）は1000人当たりの不登校児童生徒数

- 1000人当たりの不登校児童生徒数は23.2人(前年度比4.6人増)であり、全国では23.6人(前年度比4.7人増)である。
- 不登校の主たる理由を校種別に見ると、小学校では「無気力・不安」が最も多く40.9%、次に「親子の関わり方」15.0%、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」13.9%の順となっている。中学校では「無気力・不安」が最も多く38.6%、次に「いじめを除く友人関係をめぐる問題」18.6%、「親子の関わり方」8.1%の順となっている。高等学校では「無気力・不安」が最も多く33.9%、次に「入学、転編入学、進級時の不適応」13.8%、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」11.5%の順となっている。

3 暴力行為の状況

<暴力行為発生件数>

(単位：件)

校種	年度	鹿児島県				前年比較	全国		
		H30	R1	R2	R3		R2	R3	前年比較
小学校		30 (0.3)	41 (0.5)	63 (0.7)	66 (0.8)	+3	41,056 (6.5)	48,138 (7.7)	+7,082
中学校		48 (1.1)	102 (2.4)	153 (3.6)	100 (2.3)	-53	21,293 (6.6)	24,450 (7.5)	+3,157
高等学校		63 (2.0)	54 (1.7)	56 (1.8)	42 (1.4)	-14	3,852 (1.2)	3,853 (1.2)	+1
合計		141 (0.9)	197 (1.2)	272 (1.7)	208 (1.3)	-64	66,201 (5.1)	76,441 (6.0)	+10,240

※ () は1000人当たりの暴力行為発生件数

- 1000人当たりの暴力行為発生件数は1.3件(前年度比0.4件減)であり、全国では6.0件(前年度比0.9件増)である。
- 暴力行為を形態別に見ると、対教師暴力が14件(前年度比10件減)、生徒間暴力が165件(前年度比32件減)、対人暴力が1件(前年度比2件減)、器物損壊が28件(前年度比20件減)である。

4 高等学校中途退学の状況

<中途退学者数>

(単位：人)

校種	年度	鹿児島県				前年比較	全国		
		H30	R1	R2	R3		R2	R3	前年比較
高等学校		244 (7.6)	245 (7.8)	215 (7.1)	160 (5.5)	-55	34,965 (10.6)	38,928 (12.0)	+3,963

※ () は1000人当たりの中途退学者数

- 1000人当たりの中途退学者数は5.5人(前年度比1.6人減)であり、全国では12.0人(前年度比1.4人増)である。
- 退学の主な理由は「進路変更」が最も多く49.4%、次に「学校生活・学業不適応」25.6%、「病気・けが・死亡」10.0%となっている。

5 自殺の状況

<自殺した児童生徒数>

(単位：人)

校種	年度	鹿児島県				前年比較	全国		
		H30	R1	R2	R3		R2	R3	前年比較
小・中・高・特		3	6	5	3	-2	415	368	-47

※ 全国のは、全て国立・公立・私立を含めた数